



自分の「お気に入り」が見つかる美術館

高梁市成羽美術館は、成羽町が生んだ洋画家児島虎次郎を顕彰すると共に、市民に親しまれる美術館として1953年に初代が開館し、その後移転を行い現在の場所に1994年3代目として新築、開館しました。

この美術館は、建築家の安藤忠雄氏の設計によるコンクリート打放しの地下一階地上二階からなる建物で、北側には山崎御殿屋敷跡の石垣が南側には豊かな自然の急斜面が迫っています。

展示室には児島虎次郎や徳永仁臣、太田喜二郎、満谷国四郎らの絵画をはじめ、児島がエジプトや中国などで収集した古美術品、成羽地域で産出した約2億年前の植物化石などを展示しています。

◆ 施設のおすすめ

児島虎次郎の絵画は色彩豊かで、かわいい作品もたくさんあるので親しみを持って鑑賞することができます。加えて当館ではそれぞれの絵画が描かれたときの児島の年齢を記しているので作風の変化を楽しんだり、自分の人生と照らし合わせてみることもできます。

また、虎次郎が収集した古代エジプトの収蔵品を見ることのできるオリент展示室では、ヒエログリフ(古代エジプトの文字)を使って自分の名前を書いたり、化石のコーナーでは、日本最古の植物化石を専門的な用語を抑えた分かりやすい解説と一緒に見ることで理解がしやすいです。

◆ 子どもたちへのメッセージ

成羽美術館では、子どもからご両親、おじいちゃんおばあちゃんといった幅広い世代の方にも楽しんでいただけるよう毎月ワークショップを開催しています。

化石ワイズにチャレンジしてもらったり、アンモナイトのレプリカを作ったり。
自然豊かな美術館で、ぜひ家族のきずなを深めてください♪



《鸚鵡と少女》1924年(大正13)



館内の様子



児島虎次郎展示室



化石展示室



アンモナイトの化石



オリент展示室



人型棺断片